

超高齢社会に対応したごみの収集方法等に関するワークショップ

第4回 グループ発表【チーム名：さくら班・オリンピックチーム】

1 ごみの出し方について

課 題	課題を解決するための方法
分別の不徹底	(特に集合住宅) 管理者、所有者が徹底的に注意喚起することが必要 (1 (1)) 今の行政側の対応の優しさ甘さでは改善は難しい。(1 (4)) 地域別の状況調査を公表 (1 (4)) (特に単身者) スマートフォン等へ排出日・種類のお知らせを配信 (1 (5))
ごみ集積所の 清掃等管理に係る 負担	「ごみ集積所」の管理主体の明確化 (2 (1)) 分かりやすい表示、蓋付きのケース配置 (1 (3)) (2 (4))
ステーション収集 の利便性 戸別収集の効率性 や費用対効果 動物の被害対策	戸別収集の実施 (5 前文 全戸戸別は将来的に必要なかも) (特に街中) 早朝、夜間の収集 (5 (6))

2 ごみの減量化と資源化について

課 題	今後の方向
ごみの減量	給食施設からの生ごみを飼料化 (3 (2)) 生ごみの水切り運動 (3 (2)) <ul style="list-style-type: none">・ 水切りネット (生分解性ネットで堆肥化可能)・ 水切りシートの使用 発生抑制と生産者責任を追及 (3 (1)、3 (4)) スリムストアの拡張 (3 (1)) 分別マイスター (家庭) とECOマイスター (お店) の認定・啓発 (3 (6))
ごみの資源化	発生抑制を主に、細かく分別するより分かりやすい分別が必要 (4 (1)) (白、色、ペットボトル、ダンボール、新聞、缶、ビンくらいで良いのでは)

3 超高齢社会を考慮したごみの収集方法

<ul style="list-style-type: none">・ 本厚木駅種変の住宅 (居住年数が長い) において、収集方法のアンケートや実態を福祉の事業者、行政と協力して調査を行う。(5 (12))・ がんばった人が報われる減量化、資源化システムをつくり、ごみの有料化を考える。(5 (3))・ 愛の一声運動、潜在的利用等、また、利用の高い地域包括支援センター等福祉事業者へのヒアリング等すすめ、拡充も必要 (5 (8))

超高齢社会に対応したごみの収集方法等に関するワークショップ

第4回 グループ発表【チーム名： ゴミラブ 】

1 ごみの出し方について

課題	課題を解決するための方法
分別の不徹底	単身者向け集合住宅：入居時 業者からの指導 平 時 管理者からの指導 出し方のルール：「人の目」集積所の立ち会い
ごみ集積所の 清掃等管理に係る 負担	集積所の管理：可能な人が前向きに対応 環境保全指導員の役割に入れる。 (環境美化部長と連携)
ステーション収集 の利便性 戸別収集の効率性 や費用対効果 動物の被害対策	近隣交流・安否確認 回収作業、費用が効率的 カラス対策：人的手当

2 ごみの減量化と資源化について

課 題	今後の方向
ごみの減量	学校での指導継続 「3010」運動の徹底（飲食店・市民運動） 水切り器具の普及 コンポストの普及 一人当たりごみ計量順位で懸賞
ごみの資源化	「紙ごみ」の分別

3 超高齢社会を考慮したごみの収集方法

<ul style="list-style-type: none">・ 収集の基本は、本人が集積所へ出すことであるが、不可能であれば「隣近所の助け合い」で支援する。「サポーター」・ 「愛の一声ごみ収集」のPR 災害時の「要支援者」を基準に個別に対応・ 厚木市の「有利性」 自然豊かで美しいこと 地域で高齢者をフォロー ごみ回収は無料で

超高齢社会に対応したごみの収集方法等に関するワークショップ
第4回 グループ発表【チーム名：街をきれいにしましょう！！】

1 ごみの出し方について

課 題	課題を解決するための方法
分別の不徹底	立て看板や張り紙（ラミネートが必要） きれいに整理整頓（びん・缶など箱を用意する。） モラルの問題（一人一人が街をきれいにしようという自覚を持つ） ごみの集積所に分別のラミネートを貼る。
ごみ集積所の 清掃等管理に係る 負担	地域全体で当番を決めて、清掃する。
ステーション収集 の利便性 戸別収集の効率性 や費用対効果 動物の被害対策	集積所と捨てる利用者としては1箇所の方が便利 いい、立派な集積所をつくる。 戸別収集 良い面：分別ができていない人に対して注意ができる。 悪い面：生ごみの場合は、動物の被害の問題 動物の被害対策：四方のあみタイプの集積所をつくる。

2 ごみの減量化と資源化について

課 題	今後の方向
ごみの減量	不用なものは買わない、もらわない。 買いためはしないこと 食べきること 生ごみを肥料化
ごみの資源化	分別をしっかりすること

3 超高齢社会を考慮したごみの収集方法

みんなで支え合って、声掛け運動を心掛ける。